

地域医療魚沼学校 「楽語い講座」で学生が発表しました

2018年3月7日（水）に、魚沼市の小出病院講堂にて、地域医療魚沼学校が主催する公開講座「楽語い講座」が開催されました。

今回は、新潟地域医療学講座の井口清太郎教授が、ソーシャルキャピタルについての講演を行い、ソーシャルキャピタル（人々のつながり、絆）と健康との関係、ソーシャルキャピタルを高めるにはという内容でお話をしました。

この講演の中で、先日魚沼市で行われた医学研究実習の中での調査「生活環境と健康に関する調査」から得られた分析結果について、医学科3年の上原優斗君が発表を行いました。調査の中で測定した握力に注目して、握力が強い人ではより頻繁に外出しており、また冬の時期の雪かきも自分で行っていること、また雪かきを行う人は日常生活でも活発さが高いことを発表しました。

フロアからも多くの質問やコメントが寄せられ、有意義な議論が行われました。

